【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成16年7月15日(2004.7.15)

【公表番号】特表2001-503351(P2001-503351A)
【公表日】平成13年3月13日(2001.3.13)
【出願番号】特願平9-504672
【国際特許分類第７版】
　Ｂ６５Ｄ　1/26
　Ｂ６５Ｄ　1/42
【ＦＩ】
　Ｂ６５Ｄ　1/26　　Ｃ
　Ｂ６５Ｄ　1/42

【手続補正書】
【提出日】平成15年5月6日(2003.5.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成１５年5月 6 日

特許庁長官　太　田　信一郎　殿

１．事件の表示

平成９年特許願第５０４６７２号

２．補正をする者

名称　ザントヘア・パックンゲン・アーゲー

３．代　理　人

住所　〒105-8423　東京都港区虎ノ門三丁目５番１号　虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所　電話 03-5470-1900

氏名　弁理士（７７５１）石　田　　敬

４．補正対象書類名

明細書及び請求の範囲

５．補正対象項目名

明細書及び請求の範囲

６．補正の内容

a）ｉ)明細書第２頁第13行目、第５頁第14～15行目、第６頁第26～27行目、第７頁第19行目及び第10頁第19行目に「ギャップ」とあるのを『スロット』と補正します。

ii)明細書第５頁第16行目に「引込んだ」とあるのを『浮き上がった』と補正します。

b）請求の範囲を別紙のとおり補正します。

７．添付書類の目録

請求の範囲　　１通

請求の範囲

1．底部（20）と、平坦な壁体部分（8，8a，8a，8c，8d）及びその他の円筒形又は円錐台形の丸い壁体部分（6）からなる壁体（4）と、上縁に突設され、半径方向外側へ突出する突縁（12，12a）とを有するプラスチックを深絞り加工した包装カップにおいて、突縁（12，12a）が円形に形成され、欠円状の弓形部分（14）を介して平坦な壁体部分（8，8a，8a，8c，8d）と結合されていることを特徴とする包装カップ。

2．壁体（4）が円形の壁体部分（6）に、好ましくは中央区域に、周回する補強段部（10）を有することを特徴とする請求の範囲第1項に記載の包装カップ。

3．円形の壁体部分（6）が下へ細まるように円錐形に形成されており、平坦な壁体部分（8，8a，8b）が好ましくは全長にわたって等しい幅を有することを特徴とする請求の範囲第1項に記載の包装カップ。

4．突縁（12，12a）の弓形部分（14）が下向きの膨出部（16）を有し、平坦な壁体部分（8，8a，8b，8c，8d）との間にスロット（18）を形成することを特徴とする請求の範囲第1ないし3項のいずれか1項に記載の包装カップ。

5．平坦な壁体部分（8b）が円形の壁体部分（6）との接合部で、挿入可能な裁断物（54）の厚さにほぼ相当する段部（62）の分だけ内側へずらせて配設されていることを特徴とする請求の範囲第1ないし4項のいずれか1項に記載の包装カップ。

6．底部（20）が少なくとも円形の壁体部分（6）に沿って周回する台座縁（22，22a）及びカップ内部へ浮き上がった底部部分（24，24a）を有することを特徴とする請求の範囲第1ないし5項のいずれか1項に記載の包装カップ。

7．台座縁（22a）が平坦な壁体部分（8a）に沿った台座部分（40）も有することを特徴とする請求の範囲第6項に記載の包装カップ。

8．台座縁（22，22a）が突出部（26）を介して少なくとも円形の壁体部分（6）と結合されていることを特徴とする請求の範囲第6又は7項に記載の包装カップ。

9．台座縁（22，22ａ）が好ましくは壁体（４）及び底部部分（24，24ａ）の方へ細まる長方形横断面を有することを特徴とする請求の範囲第６ないし８項のいずれか１項に記載の包装カップ。

10．台座縁（22）が平坦な壁体部分（８，８ｂ，８ｂ，８ｄ）で終り、そこに包装カップの中心軸（38）に対してほぼ半径方向に走る端面（36）を有することを特徴とする請求の範囲第６項に記載の包装カップ。

11．底部（20）の形状に対応して形成されたキャップ（42）を有し、このキャップが補強及び／又は表記のために利用され、底部（20）に係止及び／又は接着されていることを特徴とする請求の範囲第６ないし10項のいずれか１項に記載の包装カップ。

12．浮き上がった底部部分（24）に挿入された補強及び／又は表記のための底部裁断物（56，56ａ，56ｂ，56ｃ）を有することを特徴とする請求の範囲第６ないし11項のいずれか１項に記載の包装カップ。

13．平坦な壁体部分（８ｂ，８ｃ，８ｄ）の形状に対応して成形された補強及び／又は表記のための壁体裁断物（58，58ａ，58ｂ，58ｃ）を有することを特徴とする請求の範囲第１ないし12項のいずれか１項に記載の包装カップ。

14．好ましくは同時にカップ開口部の閉止のために利用される蓋裁断物（78，78ａ，78ｂ）を有することを特徴とする請求の範囲第１ないし13項のいずれか１項に記載の包装カップ。

15．底部裁断物（56，56ａ，56ｂ，56ｃ）、壁体裁断物（58，58ａ，58ｂ，58ｃ）及び／又は蓋裁断物（78，78ａ，78ｂ）が一体の裁断物（54，54ａ，54ｂ，54ｃ）として形成されていることを特徴とする請求の範囲第12ないし14項のいずれか１項に記載の包装カップ。

16．裁断物（54，54ａ，54ｂ，54ｃ）が壁体裁断物（58，58ａ，58ｂ，58ｃ）と蓋裁断物（78，78ａ，78ｂ）の間の中間区域（80，80ａ，80ｂ）に切込み（82，82ａ，82ｂ）を有することを特徴とする請求の範囲第15項に記載の包装カップ。

17．切込み（82，82ａ，82ｂ）が突縁（12）の通過を可能にするように形成されていることを特徴とする請求の範囲第16項に記載の包装カップ。

18. 壁体裁断物（58ｂ）が膨出部（16）と壁体部分（８ｃ）の間のギャップ（18）に係合する張出し部（86）を有するように切込み（82ａ）が形成されていることを特徴とする請求の範囲第16項に記載の包装カップ。

19. 蓋裁断物（54ｂ）が蓋あけ引手（92）を有するように、切込み（82ｂ）が形成されていることを特徴とする請求の範囲第16項に記載の包装カップ。

20. 蓋裁断物（78，78ｂ）が壁体裁断物（58ａ，58ｃ）の反対側に突縁（12）のための別の切込み（90，92）と折り曲げ可能な固定張出し部（88，94）を有することを特徴とする請求の範囲第15ないし19項のいずれか１項に記載の包装カップ。

21. 裁断物（54，54ａ，54ｃ）が厚紙を含み又は厚紙からなることを特徴とする請求の範囲第12ないし20項のいずれか１項に記載の包装カップ。

22. 裁断物（54ｂ，54ｃ）が箔、好ましくは金属箔又はプラスチックシートを含み又はそれからなることを特徴とする請求の範囲第12ないし21項のいずれか１項に記載の包装カップ。

23. 裁断物（54，54ａ，54ｂ，54ｃ）が包装カップの対応する部分（24，８ｂ）に係止及び／又は接着されていることを特徴とする請求の範囲第12ないし22項のいずれか１項に記載の包装カップ。